

編集後記

'96(閏年)も余すところカレンダー1枚だけとなり、皆様にとっては何かと忙しい日々を過ごされていることと拝察されます。体調を崩さないようお祈り申し上げます。

今年のトピックスとしては、豊平トンネル岩盤崩落事故、'96県北部地震、病原性大腸菌O157、薬害HIV、小選挙区比例代表並立制による衆院選挙、アトランタオリンピック、メジャーでの野茂のノーヒットノーラン達成、オリックス日本シリーズ初優勝、マイクタイソンがホリフィールドに敗れる等々があり、各界で様々な話題を振り撒きました。また、日本丸は21世紀を目前にしてあらゆる分野でバリエーション改革の推進が計られ、日本の善き将来に向けてダイナミックに変貌しようとしています。このような中で当東北地質調査業協会は全地連共催の「技術フォーラム'96」を仙台で開催しました。内容的には発表者数が過去最大の149人で、特に若手現場担当者、女性技術者数の伸びが顕著で底辺の広さと業界の意識の高揚さを内外に示したと言えると思います。このことは、各関係機関、マスコミにも紹介され反響も大きかったようです。今後地質調査業は益々期待が大きくなるものと予想され、更なる技術向上と発展のために努力していかねばならないと思います。最後になりましたが、この「技術フォーラム'96特集」には全地連・全国地区協会を初めとし、当協会理事長、フォーラム実行委員長と多くの皆様方に御協力を頂き「大地」始まって以来最大の寄稿数となりました。ここに深く感謝申し上げます。

(小野 寿)

協会誌『大地』発行・編集

『大地』第22号

平成8年11月30日発行

社団法人 全国地質調査業協会連合会

東北地質調査業協会

広報委員会

編集責任者 鈴木 楯 夫

仙台市青葉区本町3-1-17(やまふくビル)

電話 022-268-1033

FAX 022-221-6803

表紙	宮城県鳴瀬町潜ヶ浦
裏紙	宮城県名取市海岸線
題字	長谷前理事長揮毫

